

【6月補正予算案 知事臨時記者会見】6月4日

今日のPCR検査も全て陰性。1か月間、新しい陽性者はいない。改めて県民の皆さんに感謝申し上げたい。また、死者がゼロを含め、医療従事者の頑張りにエールを送りたい。

今日は、令和2年度6月補正予算案の発表をする。皆さんそれぞれに痛みがあるので、予算編成には苦慮した。県議会では、コロナで補正、専決を含め、思い切った予算編成となっている。今の県の状況・経済に、ご理解いただき感謝する。

○6月補正予算案の概要

予算額は、約29億1,700万円で、うち、コロナ関係が約17億6,900万円。残りは、国の予算増減や税の還付金などが入っている。補正後予算額は約5,549億3,300万円で、過去最高額。

○緊急新型コロナ対策予算の考え方

4月専決は、そのとき必要不可欠だった休業要請関係のもの。

5月補正では、「自制型」の生活に向けた新業態に取り組む予算など。

今回は、事業継続支援を拡充するため、新たなスタイルへのチャレンジを支援。

みんなが苦しんでいる中で予算をつけるのは、難しい作業だった。ご理解いただきたい。

○これまで打ち出した支援策(全11弾)

県は、店舗単位で対応したり、県外事業者も対象にしたり、国の対象外も支援策を増やしてきた。国がベンチャー系を追加支援したが、佐賀県の施策を追ってきた形にもなった。

バス、タクシー、CSO、3年間実質無利子の県の施策。国の公庫資金窓口は混雑していた。国は、予算措置は早いですが、支援が手元に届くのは遅い。県がすかさず間を取り持ったので、利用が多い。新業態スタート援助金、文化系のLiveS Beyond。支え愛の応援キャンペーン、肥育牛農家・花農家に対する支援を続けてきた。

○事業者支援の拡充

1つ目。伝統的地場産品製造事業者等に対する支援。有田焼などの焼物、酒蔵、ビードロ、人形や和紙など、ずっと伝統的につないできたもの。そもそも経営が厳しい状況だったので、業者ごとに10万円。

2つ目。指圧・鍼灸師、はり、きゅうの施設。あんまは、視覚障害のある人が多く、密の環境で仕事がない。また、それを訴えられないのではと感じ、こちらから手を差し伸べようと決めた。利用者は、お年寄りが多い。外出を控えるよう要請したので、利用者が減った。いろんな要因があり、今回施設に10万円ずつ支援。

3つ目。観光施設は、県外のお客さんが来ない。具体的には、どんぐり村や忍者村。今後、ソーシャルディスタンスなど感染リスクを抑えてお客さんを迎えたい。施設ごとに20万円。

最後に、自動車運転代行業者。交通事故撲滅や飲酒運転対策にご協力いただいている。休業要請で客足が止まり、実績が出なかったと聞いた。タクシーへの支援と見合うような形で、業者ごとに5万円。

○たまねぎ農家への支援

今年は、たまねぎ産地第1位の北海道が、収穫時期がずれ込み、べト病に備えた佐賀の早生たまねぎと出荷時期が重なった。豊作なのに、半値以下で売られる苦しい状況。

今後も前を向いて来年の作付をしてもらいたい。10アール当たりの助成で、総額3億5,500万円の支援。出荷調整など、つらい思いをしたので、来年に向けては産地間の調整など、しっかり対応したい。

○プロスポーツチームへの支援

サガン鳥栖、久光製薬スプリングス、佐賀バルナーズ、唐津レオブラックス・レオナイナース、4つのプロスポーツチームがあることは、佐賀県にとって大きな誇り。コロナがあっても、この4チームの存続は、これから佐賀県民が前を向いていくためにも必要。

コロナでほとんど試合ができないので、総額2億3,000万円の支援。

サガン鳥栖1億円、久光製薬スプリングス7,000万円、佐賀バルナーズ5,000万円、唐津レオブラックス・レオナイナース1,000万円。今後、試合再開後の集客などに活用してほしい。

また、みんなで支える形として、ふるさと納税の支援メニューも拡充。個人版の「サガン鳥栖の支援」を「プロスポーツの支援」に拡大。県外の企業版として、「プロチームの支援」を追加。県外企業の皆様にも応援してもらう。

プロスポーツが前進できるよう支援をしていきたい。県民の皆さんも支援してほしい。

○陶磁器・家具産地への支援

有田陶器市は中止だったが、ウェブを使い頑張っている。今後、新しい業態、売り方もあるだろう。展示会への出展支援で、佐賀県の焼き物を応援していく。陶磁器に総額8,500万円。

諸富家具もダメージを受けている。県内の特別支援学校、県立図書館の備品として、椅子や机などを買い支援をする。県の施設で、佐賀らしい家具で憩える空間をつくっていきたい。家具に総額3,400万円。

○新たなまちづくりチャレンジ補助金

SAGA ナイトテラスチャレンジに使う資機材、ドライブスルー方式、ウェブ販売など、チームで新たなまちづくりに取り組む事業者グループに補助金を交付。チーム化して、新しい業態に向けたチャレンジする団体に、補助率4分の3以内で、1グループ150万円を上限に補助。

移動販売車など、さまざまな方法が考えられる。ぜひ応募してほしい。

○気を引きしめて、佐賀県オープン。

観光の話。今月、福岡県で出した佐賀県の広告。これからは、気を引き締めて佐賀をオープンする。OPEN-AIR 佐賀として、SAGA FURUYU CAMP、フォレストアドベンチャーなどの施設も加えてPRした。

○新たなスタイルによる観光の推進

コロナの水際対策を国が考えるだろうから、インバウンドは簡単に戻って来ない。日本人も海外旅行を控えるだろう。その消費をいかに本県に取り込めるのかもポイント。視点を身近なところに置くタイミングでもある。新たなスタイルでのイベントの開発、県内・九州域内からの観光誘客強化。それにより、福岡、長崎、熊本から誘客を図りたい。また、県民の皆さんに県内の宿泊施設を利用してもらうなど、安価で行けるセットを考えている。1億2,000万円程度。

○さがウェディング♡祝福プラン

いろんな話を聞いたが、胸に響いたのが結婚式延期の話。3月から6月の結婚式は、キャンセルしなければいけない。佐賀県は、ひと月に300組ぐらい結ばれている。励まし、祝福する気持ちを込めて、「さがウェディング♡祝福プラン」として支援したい。3月から6月、結婚式をはじめとするセレモニーが延期、またはキャンセルとなった夫婦やカップルが対象。

1組 10万円の支援金と5,000円の花のギフトカード。佐賀県で結婚したいと思う気持ちに応えたい。お二人にエールを送り、コロナ流行したけど、佐賀県はずっとあなた方を応援するという気持ちを込めて、この事業を行いたい。

○佐賀支え愛サポーター

最後に。「佐賀支え愛サポーター」として、協力してくれている。それぞれの事業の中で、このステッカーを貼って、応援してくれようという企業も増えている。これからも、皆さんに声をかけをしながら、佐賀支え愛というキャンペーンを成功させていきたい。